

第2回 TAITO フューチャースクール検討委員会

開催日	令和6年7月30日(火)16:00~17:31
場所	台東区役所 6階 教育委員会室
出席委員	高橋委員、垣野委員、坂田委員、平柳委員、田中委員、渡邊委員、前田委員、山田委員、川田委員、宮脇委員、増嶋委員
欠席委員	森田委員
配布資料	① TAITO フューチャースクール検討委員会 先進校視察報告 ② (坂田委員提出資料)教育現場での動画活用の可能性について～動画が変える未来の風景～ ③ TAITO フューチャースクールのコンセプト (案)

■議事概要

1. 開会

2. 議事

(1)【事務局報告】ア 先進校視察について

資料①について、増嶋委員より説明

- ・ 視察の目的
今後の台東区立学校における学校教育及び教育環境の検討の参考とする。
- ・ 視察校
富山市立芝園小学校、板橋区立板橋第十小学校
- ・ 視察の考察
(ア)教職員の資質・能力向上には、研究校の実践や先進事例の周知、意識改革推進が必要。
授業動画、データ等の共有の仕組みの構築が必要。
(イ)学校のDX化を推進し、全てのデータ処理をクラウド上で行えるシステム環境が必要。
コミュニケーションツールを活用し、働き方改革を推進する。
校務系ネットワークと学習系ネットワークを統合した次世代ネットワークの導入は必須。
(ウ)教育環境は、一斉指導から自由な学習へシフトし、教室を開放してオープンスペースと繋がるような配置や、教室の机についても大きな板面の机の配置が必要。
職員室には、少人数での会議や製作作業を行うためのフリーデスクのスペース配置が必要。

【垣野副委員長】

- ・ 台東区でも、どのぐらいの大きさの家具で、どういうふうに、何人で何をするための場所をいくつ用意するかといったことを検討していく必要がある。
- ・ 学年毎に適切な家具の高さと配置と量がある。そこに注意しながら、変化・リノベーションしていく。

【事務局報告】イ Google Workspace 配備の進捗について

増嶋委員より説明

- ・ 「校務の情報化等による学校の働き方改革の推進」に資するツールとして、上野小学校に Google Workspace を整備中。今後、普段の教育活動でも活用できるよう準備していく。

(2)【モデル校報告】Google Workspace の校内研修について

田中委員より説明

- ・ 夏休みに教員向けの校内研修を実施した。
- ・ 現在は、Google 使用経験のある教員が中心に取り組んでいる。
- ・ 児童は 10 月頃からの使用開始を検討中。

(3)【委員提案】教育現場での動画活用の可能性について

資料②について、坂田委員より説明

- ・ 教育現場において動画活用は環境のフレキシブルさを保証するとともに、不登校の子も教育の機会を失わずに提供することが可能。
- ・ 各校の良質なコンテンツをクラウドに持ち寄って、台東区としての教育基盤を検討していくことが必要。

【増嶋委員】

- ・ 今後の研修時の動画活用方法について検討中。
- ・ ICT活用の実践事例を作成し、各校に広めていきたい。

【高橋委員長】

- ・ Google Classroom では、授業プラン内で動画や PDF 等を扱え、動画再生中に出題も可能。
- ・ 作成した授業プランは先生間で共有も可能。

【坂田委員】

- ・ 教育コンテンツとしての動画活用という観点と、児童・生徒が自分の表現として動画活用をするという2点がある。
- ・ 自己表現の一環として動画を作成するのが一般化するのではないか。

【高橋委員長】

- ・ 都立図書館も動画活用に向けて検討を開始している。

【田中委員】

- ・ 児童は既に自主的に Canva で動画を作成して、活用している。

(4)【事務局提案】TAITO フューチャースクールのコンセプト(案)について

資料③について、増嶋委員より説明

- 一人一人の子供(I)が学びの主役であること
- 自分のよさを発揮し、自身の可能性や他者との関わりをより一層広げるために ICT を自在に活用すること
- 課題意識をもち、新たなアイデア(Idea)を生み出す発想力を高めること
- ・ 3つのIを大切にしながら、

- ①子供一人一人が主体となって学ぶための環境の整備・提案をしていくこと、
 - ②新しい時代に求められる資質・能力の育成の在り方の提示をしていくこと
- で、国の教育振興基本計画で示している「令和の日本型学校教育」の実現に向けた、台東区ならではのモデルを提言していくことができるのではないかと。

【高橋委員長】

- ・ 一人一人が学びの主役として活躍するという事は、「こども基本法」の流れを汲んでいる。

【垣野副委員長】

- ・ 子供だけでなく先生も一緒に、というニュアンスを取り込めるとさらに良い。

【渡邊委員】

- ・ アンラーンについて今まで積み上げてきたことを1度置いて新しい考え方に改めていくとともに、生活指導面において生徒の心の教育も実施していきたい。

【田中委員】

- ・ 3つのIと主な取り組みについて、学校がこう変わる、学びがこう変わる、先生がこう変わるというような、これまでとは全く違うということを教育委員会として打ち出してほしい。

【高橋委員長】

- ・ 教員の働き方改革による時間の創出だけでなく、教員にとって働きやすい場所や時間が柔軟化できると良い。

【前田委員】

- ・ コンセプトについては、「台東区学校教育ビジョン」の主な施策から横引いた形としたが、フューチャースクールの取り組みの幅が広がるように検討していく。

【平柳委員】

- ・ 意見が活発にできるような取り組みがあると、子供たちの自由なアイデアが出てくる。

【坂田委員】

- ・ ICTのC(コミュニケーション)を強調しても良い。

3. 閉会